

# GDCレポート4

COMMUNITY DEVELOPMENT CENTER

第44号

法人 地域社会計画センター 編集・発行

329

● ひとつこと	田村 明	1
《調査研究から》		
● 「中山間地域」再生の課題	中西 信彦	2
《現地レポート》		
● 農住組合設立とJAの役割—静岡県・JA浜松伊知富		6
【連載】資産管理とやさしい法律の基礎 ①		
民法上の組合による共同事業	山岸 洋	8
【連載】資産管理と税金 Q & A ①		
税制改正の内容〈上〉	柴原 一	9
【連載】資産の運用と管理の基礎 ④		
建物の売却を考える	中城 康彦	10
● グリーンベルト		
オバアチャン・サロン	樋浦 道夫	11
農業分野における障害者雇用	岩崎由美子	11
● インフォメーション		12
*当センター佐藤喜春理事長が死去		
*「快適な地域づくり推進方策」研究会開催		
*組織変更と人事異動のご案内		



現代都市はいよいよ複雑になっている。どこかが狂うと、たちまち大混乱をおこすだろう。電気が止まれば高層ビルの水洗は使えないし、ゼロメートル地域の排水はできない。ごみをひと月も採らなかつたら、ゴミブリや鼠の巣になるかもしれない。電線のトラブルは銀行業務を停止させた。もっと大規模になると都市の経済活動全体が止まってしまう。

都市はますます巨大化し、変化する。常に誇張し、機能を変化させ、改造される。毎日何かが増加される代わりに、何か失われてゆく。都市開発と農業や緑、新しい施設と歴史的な遺産、経済的活力と健康な環境の関係など、矛盾しがちの問題も多い。

都市は複雑で巨大な生物のようなものである。これを、誰が正常に動くようにコントロールし、病気を直したり、その原因を早めに除去し、将来についても都市が市民の住まいや活動の場として、相応しいものになっているのだろう。都市を働き場の場やねぐらではなく、楽しい文化的なものにしてくれるのだろう。それが、

はっきりしていない。

現在の複雑を総合的に促え、都市が正常に機能するように運営し、問題を解決し、将来をよりよく変えていくことは「都市経営」と言える。都市はそこに責任をもつ市民によって運営されるべきで、市民は共同して都市経営に当たらなくてはならない。


市民には多くの異なる意見があるが、ばらばらではなく、共同して事に当たるために市民の政府としての

ひとつこと

## 地方行政から都市経営へ

田村 明

法政大学教授



自治体をつくった。これが都市の経営体になるはずである。残念ながら、自治体の現状では、タテワリの中央各省庁の政策を執行する「地方行政」の枠があ

る。これでは、市民の立場に立ち、地域の実情に合った総合的な都市経営はできない。

いま地方分権論が活発になり、その立法化も課題にあがっている。これを中央と自治体との権限の取り合いの問題に終わらせてはならない。いかにして、市民の自覚と責任の上に立った自治体をつくり、その都市経営を可能にさせる視点から検討されるべきだろう。